

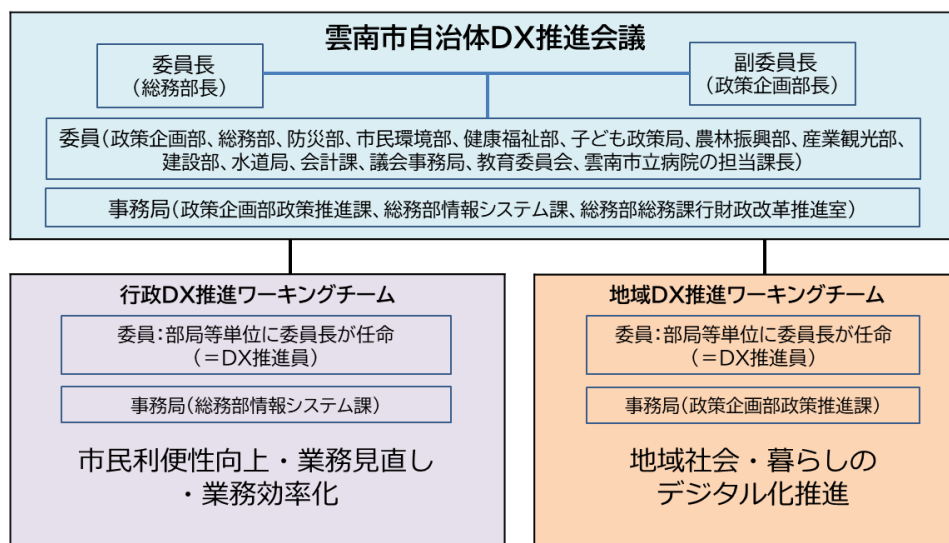
雲南市版デジタル田園都市構想（地域DX推進）について

1. 国の取り組み状況について

- 国では、地方創生の基本的方向を定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、構想の中長期的な基本的方向を提示する「デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」を年内にとりまとめ公表される予定。
- こうした中、地方公共団体は、新たな状況下で目指すべき地域像を再構築し、地方版総合戦略を改訂し、具体的な取り組みを推進していくよう求められている。

2. 雲南市の取り組み状況について

- 本市では、本年10月、庁内に「雲南市自治体DX推進会議」を立ち上げ、行政サービスや地域社会のデジタル化に向けた検討を進めている。



- 行政DXの推進については、自治体情報システムの標準化・共通化への対応を優先的に進めながら、行政手続きのオンライン化などの市民サービスの向上や業務の見直し・効率化に向けた検討を進めていく。
- 地域DXの推進については、市民ニーズの把握や先進事例の調査研究を進めるとともに、関係団体等を交えた勉強会・意見交換会を行いながら地域のデジタル化の将来像や先行的に取り組む事項について検討を進めていく。

3. 雲南市版デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）の策定について

- 地域DX推進ワーキングチームが中心となり、庁内関係部局や地域の関係団体等との議論を通じて地域のデジタル化に向けた検討を進め、来年度中の雲南市版総合戦略の策定をめざす。
- 本年度は、先進事例の勉強会や外部アドバイザーを招聘し各分野別のワークショップを行い、デジタル化の将来イメージ（総合戦略の骨子）をまとめる。
- 外部アドバイザーは下記の方を調整中。

<外部アドバイザー候補>

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事 榊原貴倫 氏

[実績等：神戸市、東広島市、佐賀市等でDXアドバイザー就任]